≪省エネナビ≫

HNV-3 設定回収ツール 取扱説明書

(Windows 専用)

第 1.0 版

平成 20 年 11 月

日東工業株式会社

目次

1. はじめに 3
2. 動作環境 3
3. 表示器の接続 4
4. 設定&回収ツールの起動 10
5. 設定&回収ツールの終了 10
6. 表示器の設定 11
7. 表示器のデータ回収 15
8. データクリア 18
9. 時刻設定 18
10. 困ったときには 19
11. 付録　画面説明 22

1. はじめに

本書は省エネナビ表示器(以下、表示器)の設定および回収を行うソフトウェア（以下、設定＆回収ツール）に関する取扱説明書です。なお、表示器や電力センサなどに関する操作、取扱いに付いては各機器の説明書を参照してください。
注）本書にある図は全てイメージ図です。実際の製品とは異なる場合があります。

2. 動作環境

設定＆回収ツールをご使用になるためには、お使いのパソコンに以下のシステムが必要になります。
また、お使いのシステムの環境、およびご利用方法によっては、記載以外の制限が発生する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

・OS
Windows2000/XP/Vista

・CPU・メモリ・ハードディスク容量
【必須】Pentium　166MHz 32MB 以上　HDD の空き　30MB 以上
　　モニタ解像度　640×480　256 色以上
【推奨】Pentium　500MHz 64MB 以上　HDD の空き　60MB 以上
　　モニタ解像度　1024×768　16bitColor 以上

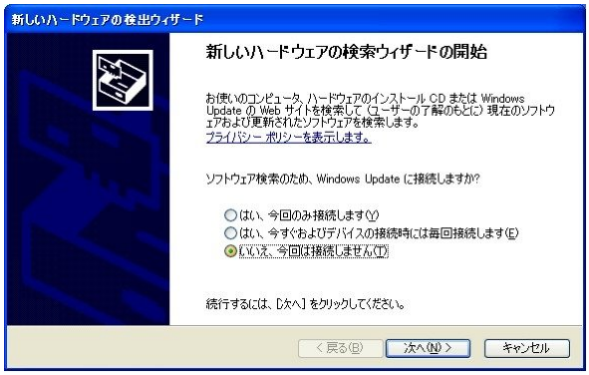
・USB ポート
パソコンに本体に **USB ポート**が用意されていること。

3. 表示器の接続

3.1. ドライバのインストール

表示器とパソコンとの接続には専用 USB ケーブルを使用します。専用 USB ケーブルを使用するためには、ドライバのインストールが必要になる場合があります。
表示器の電源を投入し、付属の専用 USB ケーブルを**パソコン**と**表示器**の USB ポートに接続した時に、【図 1　ハードウェア検出表示】と【図 2　新しいハードウェア検索ウィザード】が順に表示される場合は、お使いのパソコンにはドライバがインストールされておりません。ウィザードの**[キャンセル]**ボタンをクリックして終了し、専用 USB ケーブルをパソコンから外してください。その後にドライバのコピーとインストールを以下の手順にそって行ってください。

【図 1　ハードウェア検出表示】

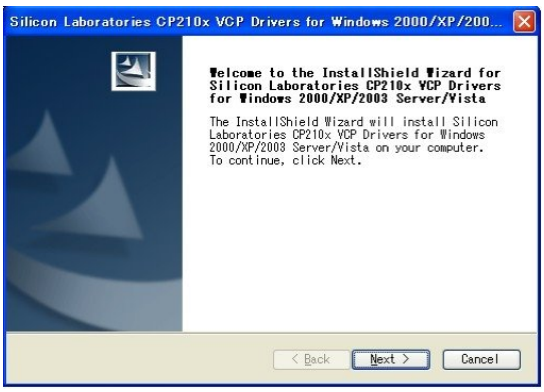


【図 2　新しいハードウェア検索ウィザード】

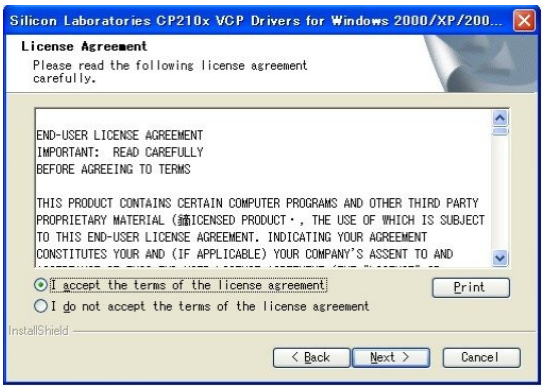
3.1.1. USB ドライバのインストール

(1)付属 CD の「CP210x_VCP_Win2K_XP_S2K3.exe」のアイコンをクリックします

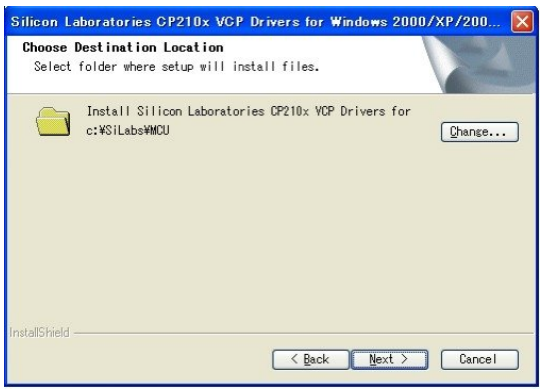
(2)[Next >]ボタンをクリックします



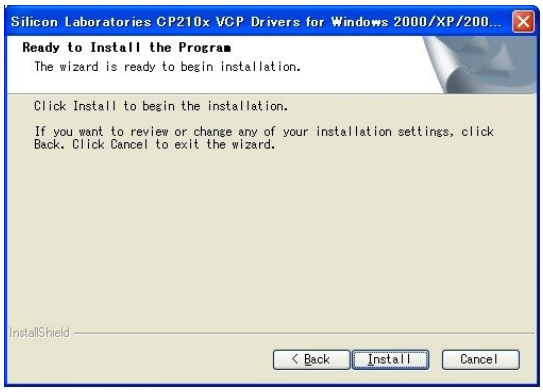
(3)下記の項目を選択し[Next]ボタンをクリックします

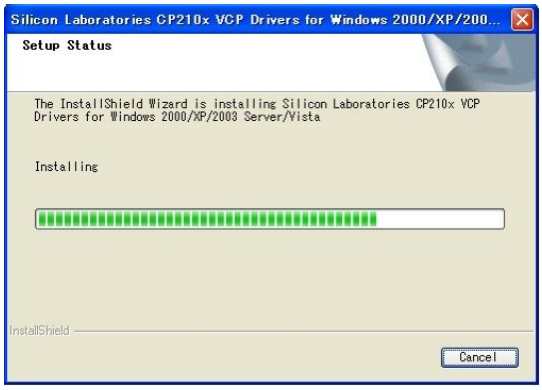


(4) [Next]ボタンをクリックします



(5) [Install]ボタンをクリックします



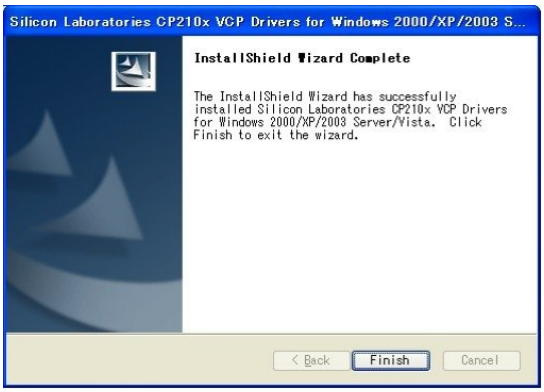


(6)[Install]ボタンをクリックします

※上記画面に数分かかる場合があります

(7)[OK]ボタンをクリックします

(8)終了



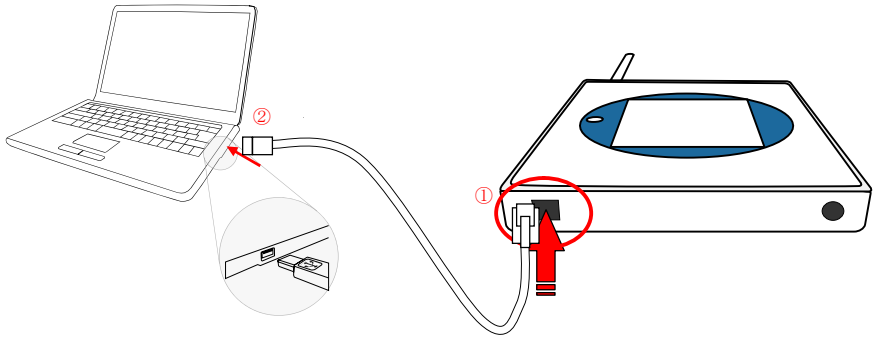
[Finish]ボタンをクリックしてインストールを終了します。

設定を有効にするために再起動の要請があった場合は、コンピュータを再起動してください。

3.1.2. パソコンと表示器の接続

(1) 表示器の電源の切ります

(2) パソコンの USB ポートと表示器の USB ポートを付属の『専用 USB ケーブル』で接続します



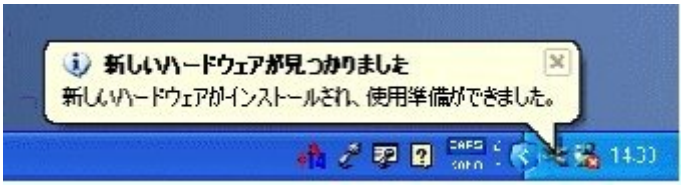
① 表示器の USB ポート
② パソコンの USB ポート
注）パソコンの機種により USB ポートの位置は異なりますので USB ポートの位置はご使用のパソコンの説明書をご参照ください。

(3) 表示器の電源をいれます

接続すると下図のようなメッセージが現れます。

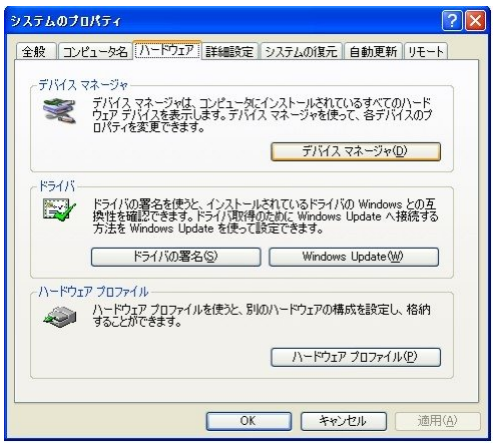
(4) 完了

インストールが完了すると画面右下に下の表示が現れ設定回収ツールが使用可能となります。

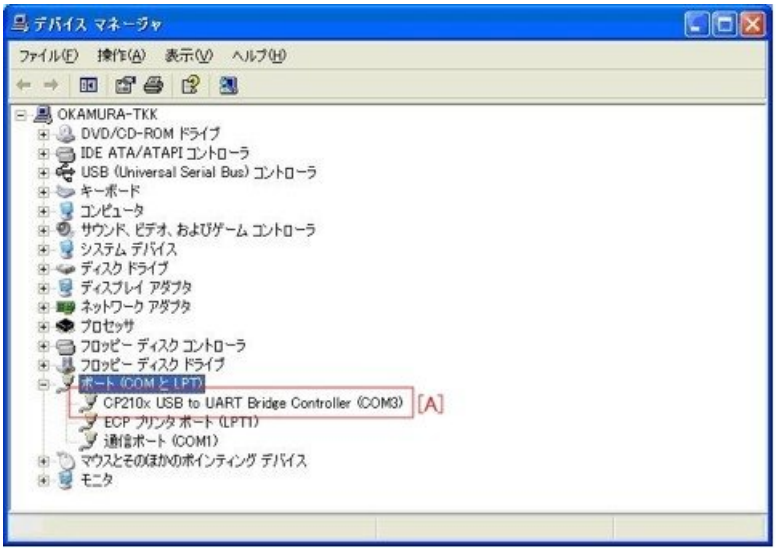


3.1.3. ドライバ確認

[マイ コンピュータ]を右クリックし[プロパティ]を選択してシステムのプロパティを開きます。システムのプロパティの[ハードウェア]タグを選択すると下の画面が現れます。（左下：Windows 2000/XP の場合、右下：Windows Vista の場合）
[マイ コンピュータ]は、デスクトップまたはスタートメニューにあります。



[デバイス マネージャ]ボタン（Windows 2000/XP は画面中央上、Windows Vista は画面左上）をクリックします。



上図の[ポート（COM と LPT）]の[＋]をクリックして確認します。
[CP210x USB to UART Bridge Controller](上図[A])の表示を確認してください。
表示が確認できれば正常にインストールが完了しています。

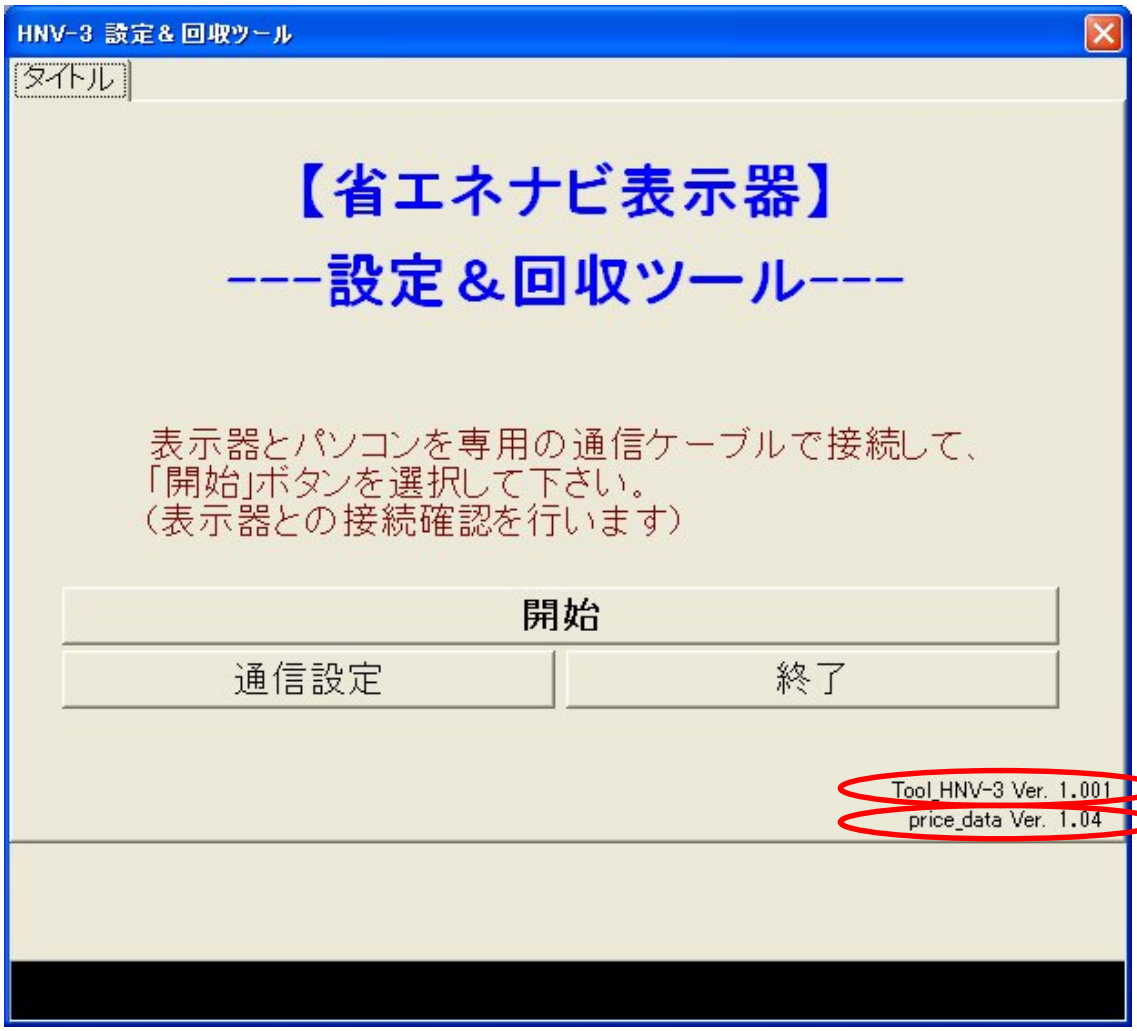
CP2102 USB to UART Bridge Controller のように表示されている場合は、正常にインストールされておりません。上記の表示になるようにドライバの更新を行ってください。
更新方法は、 CP2102 USB to UART Bridge Controller 右クリックし、[ドライバの更新]を選択します。

4. 設定＆回収ツールの起動

付属 CD の『Tool_HNV3.exe』をダブルクリックします。
下のようなトップページが表示されます。

5. 設定＆回収ツールの終了

設定＆回収ツールのタイトルページにある[終了]ボタンをクリックします。
トップページでない場合は、画面下の[タイトルへ戻る]ボタンをクリックしてタイトルページに戻ってください。



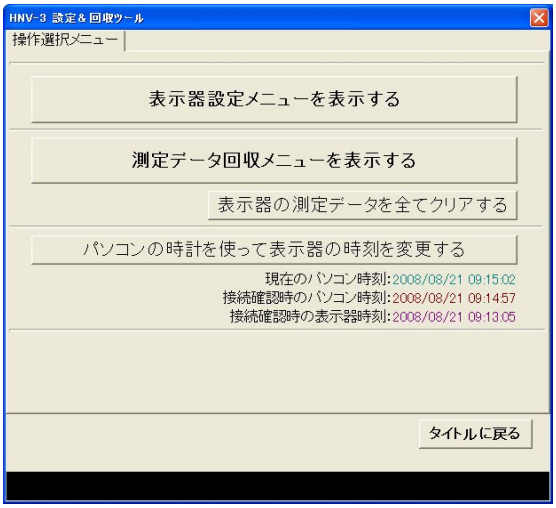
① 「Tool_HNV-3 Ver.1.XXX」は、設定回収ソフトのバージョンを表します。

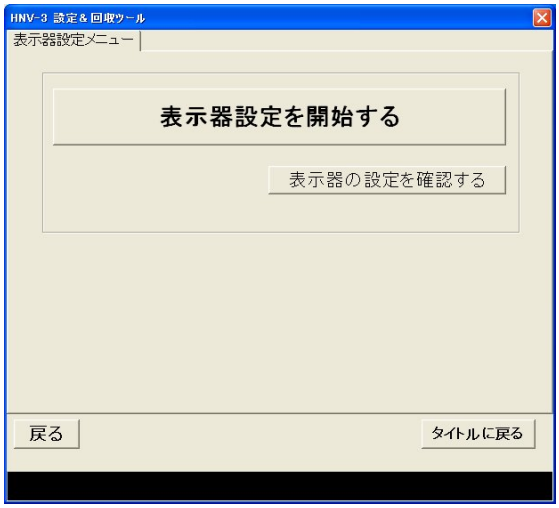
② 「price_data Ver.1.XX」は、電気料金データのバージョンを表します。

注）最新のバージョンは弊社ホームページ http://www.nito.co.jp より入手できます。
ホームページの手順に従って、ダウンロードし使用してください。

6. 表示器の設定

操作選択画面で[表示器設定メニューを表示する]ボタンをクリックして設定メニューを表示します。



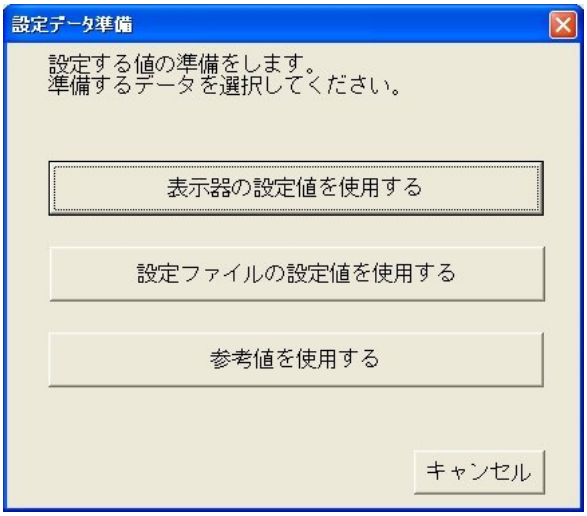


6.1. 表示器の設定値変更

設定メニューの[表示器設定を開始する]ボタンをクリックして、以下の手順で行ってください。
表示器の設定を確認のみしたい場合は[表示器の設定を確認する]ボタンをクリックしてください。

(1) 設定値の選択

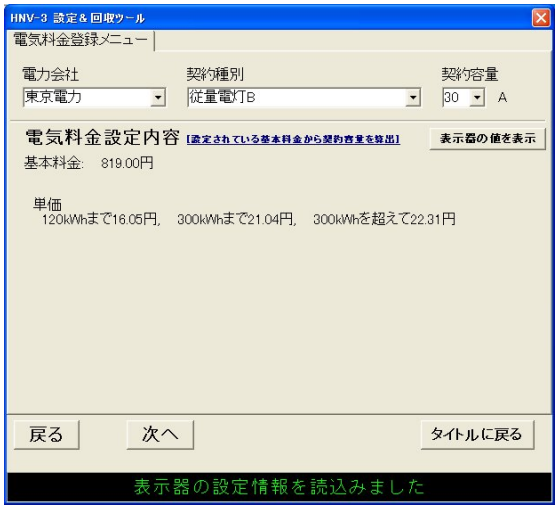
設定する値を下記の３つの項目ボタンから選択します。

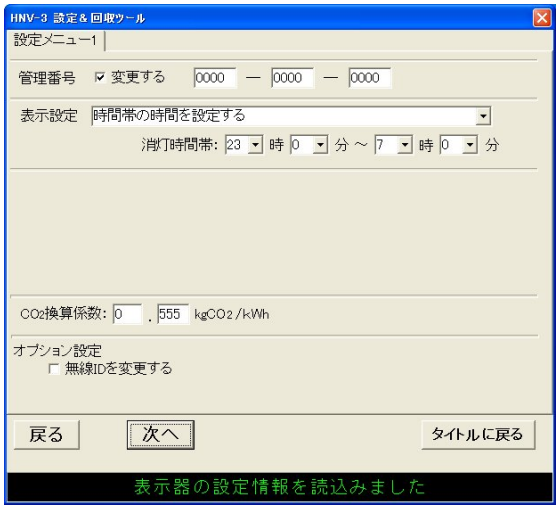


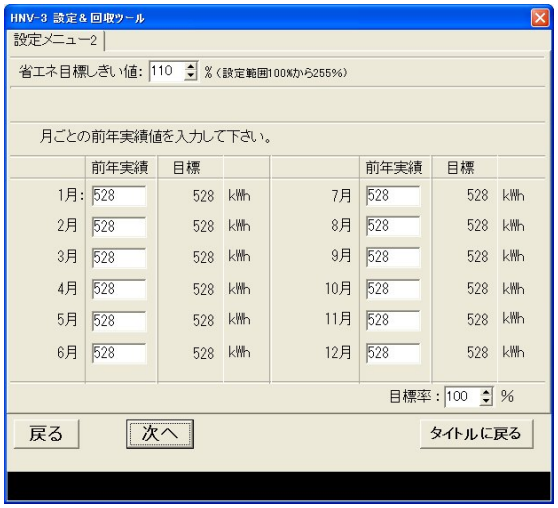
① 表示器の設定値を使用する
表示器から読み出した値を設定画面に表示します。
② 設定ファイルの設定値を使用する
予め保存された設定ファイルの値を設定画面に表示します。
③ 参考値を使用する
設定の参考となる値を設定画面に表示します。

(2) 設定値の入力

設定値を入力し、[次へ]ボタンをクリックして設定を進めます。
設定項目は『電気料金登録メニュー』、『設定メニュー1』と『設定メニュー2』の画面で設定します。







↑注）入力されている設定値はデフォルトの値です。

『電気料金登録メニュー』内容

電力会社名	契約電力会社名を選択します。
契約種別	契約種別の名前を選択します。
契約容量	契約容量を入力します。選択された契約種別に契約容量の設定が必要な場合のみ入力欄が表示されます。 注）契約種別により入力方法が異なります。

『設定メニュー1』内容

管理番号を変更する	管理番号を変更したい場合にチェックボックスをオンにして管理番号を入力します。チェックボックスがオフの場合は管理番号の入力はできません。 注）番号が初期設定値である場合は、初期設定以外の番号に設定してください。
表示設定	消灯時間帯の種別を選択します。
消灯時間帯	消灯時間帯の種別を「時間帯の時間を設定する」にした場合に消灯する時間を選択します。
CO2 換算係数	1kWh あたりの CO2 排出量を入力します。
料金単価	1kWh あたりの料金単価を入力します。
無線ＩＤを変更する	無線ＩＤを変更したい場合にチェックボックスをオンにして設定したい無線ＩＤを入力します。チェックボックスがオフの場合は無線ＩＤの入力はできません。 注）無線 ID を変更する場合は、電力センサの無線 ID とあわせてください。

『設定メニュー2』内容

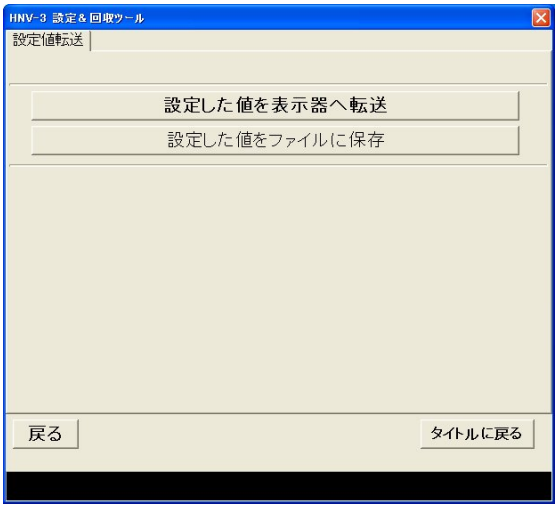
省エネ目標しきい値	省エネの達成度を判定するしきい値です。目標値に対して規準となるしきい値の割合を設定します。表示器ではしきい値を超えると予想された場合にアイコンや表示色で表現されます。（詳しくは『設置手引書』を参照してください）
前年実績値	ひと月単位で目標値の元となる前年実績値を設定できます。 注）電力会社から請求される検針表を参考にしてください。11 月に来る検針表は 10 月分の使用量であることがあります。検針期間をご注意ください。
目標率	前年度実績に対して、目標の割合を決める値です。 例）前年実績値：１０００kWh 目標率：９０%の場合、 目標値は、９００kWh になります。

(3) 設定値確認

設定した内容を確認してから[次へ]ボタンをクリックして『設定値転送』に進みます。
尚、設定内容は[設定内容を印刷]ボタンをクリックして印刷することができます。

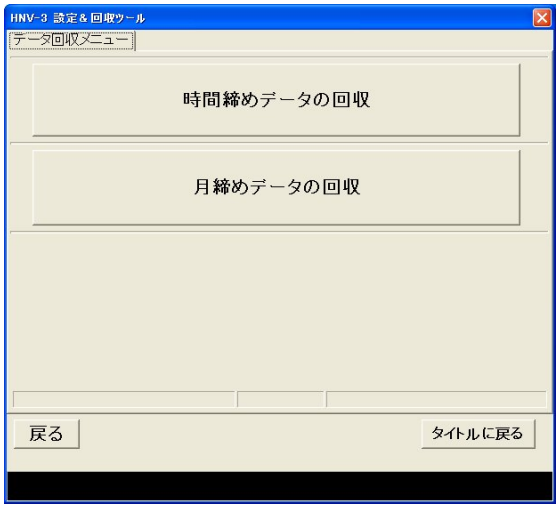
(4) 設定値の転送と保存

- 設定内容を表示器へ転送することとファイルに保存することができます。
- 設定内容を表示器に転送する場合は[設定した値を表示器に転送]ボタンをクリックします。
- 設定内容をファイルに保存する場合は[設定した値をファイルに保存]ボタンをクリックします。



7. 表示器のデータ回収

表示器に保存された測定データを回収します。
１時間区切り（時間締め）および１ヶ月区切り（月締め）の２種類のデータが回収（パソコンに保存）できます。



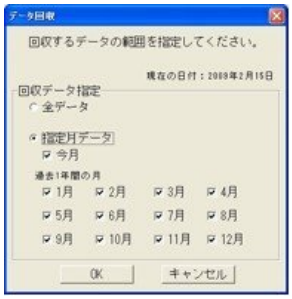
データ種別	回収データ期間
時間締めデータ	回収日を含んだ 13 ヶ月
月締めデータ	最新の 13 ヶ月分

7.1. 時間締めデータの回収

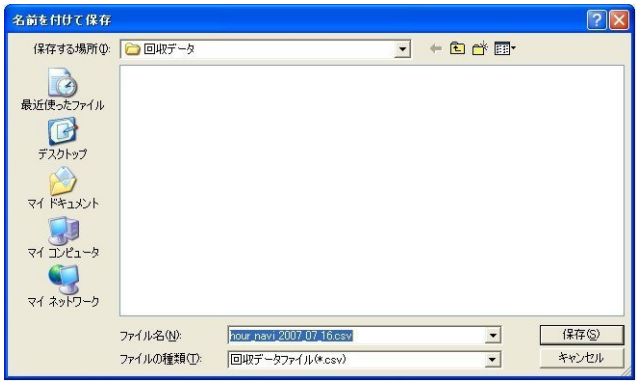
［時間締めデータの回収］ボタンをクリックし、データの回収を開始します。

(1) データの期間を選択

回収するデータをひと月単位で指定できます。
一番古いデータは、回収日の一年前の月のデータになります。
例：2007 年 1 月から測定を開始して、2008 年 4 月に回収を行った場合では、メニューで選択されるデータの年月は以下のようになります。
「今月」は 2008 年 2 月、「1 月」は 2008 年 1 月、「4 月」は 2007 年 4 月

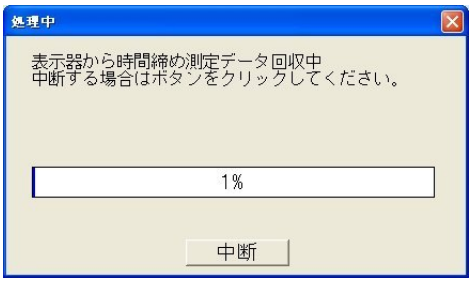


(2) 保存ファイルの指定



(3) 回収の実行

保存ファイルを指定すると回収の実行が開始されます。
中断したい場合は、［中断］ボタンをクリックします。



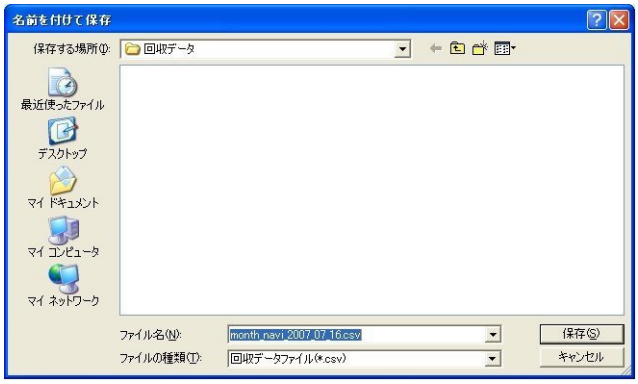
(4) 回収の終了

回収が終了すると処理中ダイアログが閉じます。

7.2. 月締めデータの回収

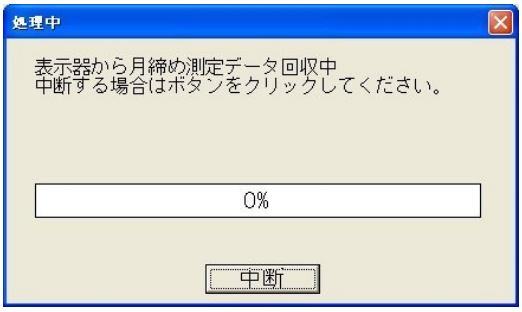
[月締めデータの回収]ボタンをクリックし、データの回収を開始します。

(1) 保存ファイルを指定



(2) 回収の実行

保存ファイルを指定すると回収の実行が開始されます。
中断したい場合は、[中断]ボタンをクリックします。

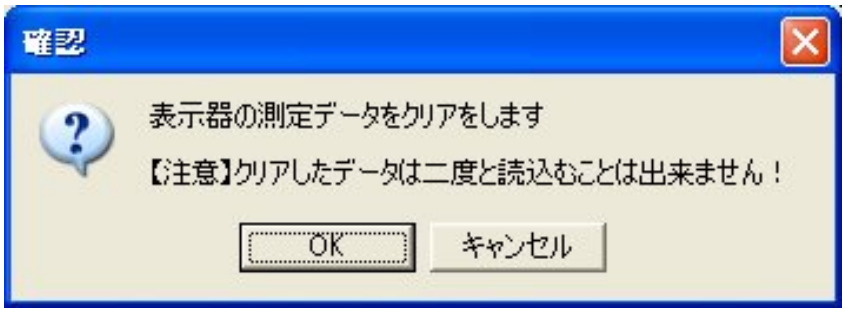


(3) 回収の終了

回収が終了すると処理中ダイアログが閉じます。

8. データクリア

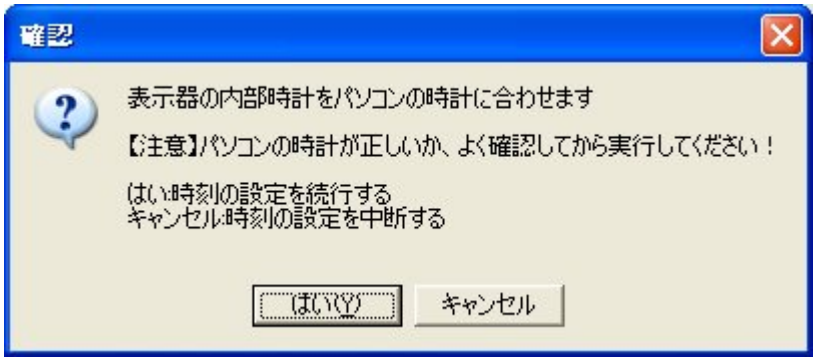
操作選択メニューの『表示器の全てのデータクリアする』をクリックすることで表示器に保存されているデータをクリアすることができます。
データクリアを行うと運用開始日もクリアされます。
また、表示器設定を行う時に表示されるダイアログによりデータのクリアを行うことができます。
運用開始日は、データクリア後最初の電源投入日時が設定されます。



9. 時刻設定

パソコンの時計を使って表示器の日時を設定することができます。
注）設定前にパソコンの時刻が正しいことを必ず確認してください。

操作選択メニューの[パソコンの時刻を使って表示器の時刻を変更する]ボタンをクリックします。



10. 困ったときには

(1) 表示器との接続に失敗する。設定が途中で止まってしまう。

① 表示器とパソコンにケーブルが接続されていますか？

（いいえ）→パソコンと表示器にケーブルを接続してください。
（はい）→ ②の確認

② 表示器の電源は正しく入っていますか？

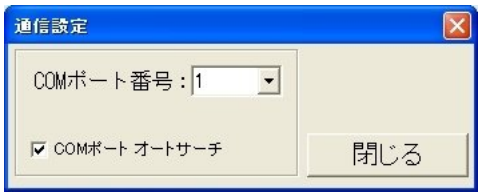
（いいえ）→表示器の電源をいれてください
（はい）→ ③の確認

③ パソコンに正しく専用 USB ケーブルの USB ドライバがインストールされていますか？

確認方法は『3.1.3 ドライバ確認』を参照してください。
（いいえ）→『3.1.ドライバのインストール』を参照してドライバをインストールしてください。
（はい）→ ④の確認

④ 通信設定は COM オートサーチになっていますか？

タイトル画面の[通信設定]ボタンをクリックすると『通信設定』ダイアログが表示されます。表示されたダイアログのチェックボックスを確認してください。



（いいえ）→ COM ポートオートサーチに設定してください。
（はい）→ COM ポートオートサーチを解除して⑤の確認

⑤ COM ポート番号の設定は表示器に接続されているポート番号と同じですか？

注）COM ポートオートサーチに設定されている場合は、自動的に設定されます。
システムプロパティに表示されるポート番号を確認してください。システムプロパティの表示方法は『3.1.5 ドライバ確認』を参照してください。[CP210x USB to UART Bridge Controller]の後に COM ポートの番号が表示されます。下図の場合は COM ポートの番号は「3」になります。

（いいえ）→ポート番号を設定してください。
（はい）→設定＆回収ツールを終了させて、専用 USB ケーブルをパソコンから取り外し、表示器の電源を入れ直して操作をやり直してください。やり直しても問題が解消されない場合は、表示器のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

(2) ボタンをクリックできない（画面の表示がずれている）

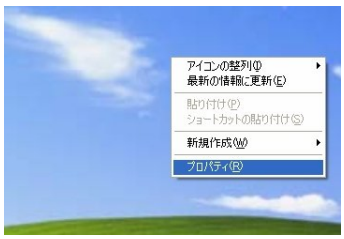
画面の表示される文字のフォントが大きい可能性があります。下記の方法で設定の確認を行ってください。また、必要に応じて設定の変更をしてください。

◆ Windows2000/XP

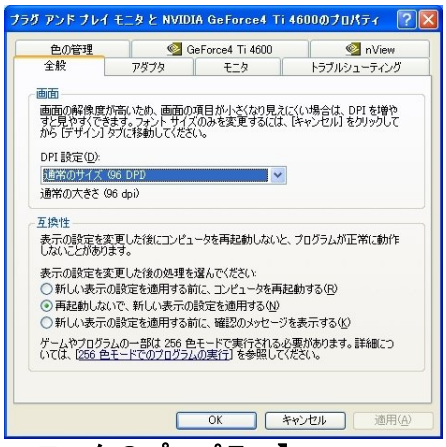
デスクトップのなにもないところ（壁紙部分）で右クリックして［プロパティ］を選択します。
表示される『画面のプロパティ』の［設定］タグを選択してください。［詳細］ボタンをクリックして『モニタのプロパティ』を表示してください。
『モニタのプロパティ』の「全般」タグを選択してください。

【Windows2000 の場合】
［フォントサイズ］を「小さいフォント」に設定してください。

【WindowsXP の場合】
［DPI 設定］を「通常のサイズ」に設定してください。



【画面を右クリックした時に表示されるメニュー】

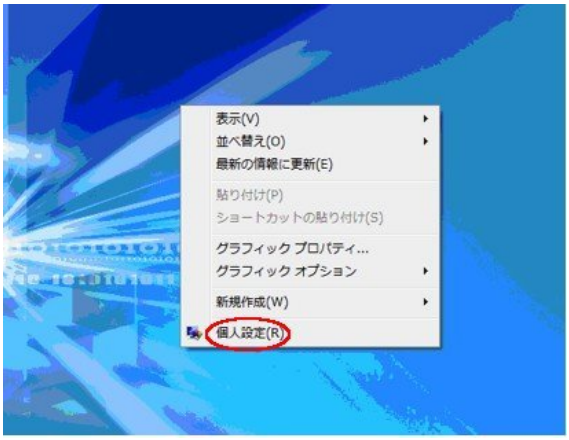


【左：画面プロパティ】【右：モニタのプロパティ】

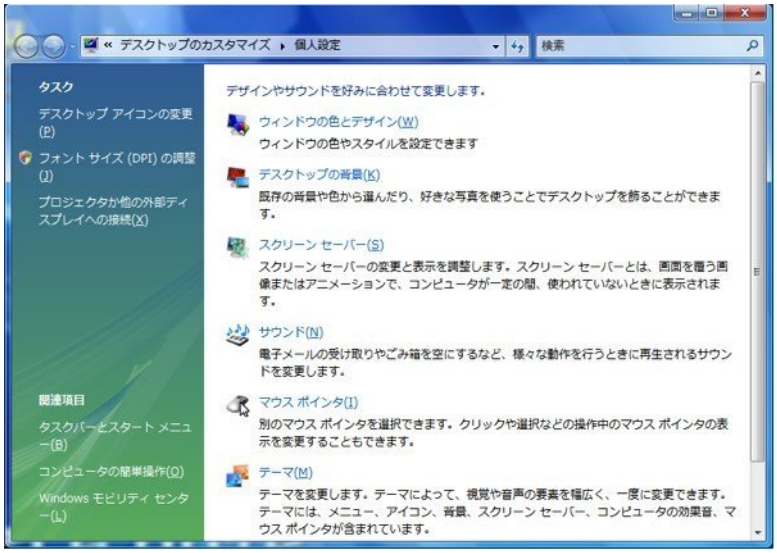
・指定の操作を行って問題が解決しない場合は、設定回収ソフトを終了させて、表示器の電源を入れ直して操作をやり直してください。やり直しても問題が解消されない場合は、表示器のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

◆ Windows Vista

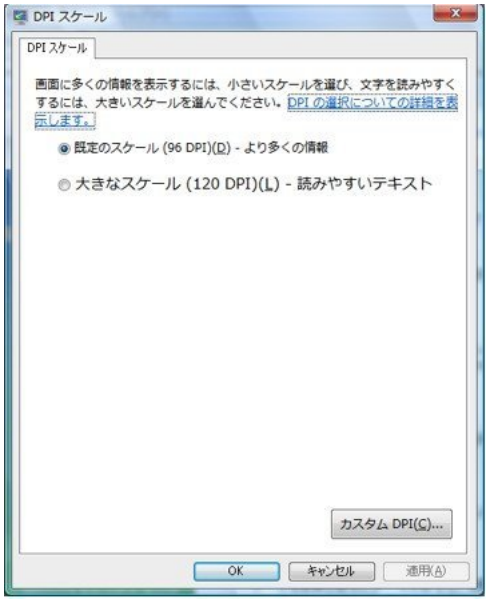
デスクトップのなにもないところ（壁紙部分）で右クリックして［個人設定］を選択します。
表示される画面の『フォントサイズ（DPI）の調整』をクリックしてください。
『DPI スケール』の設定を「既定のスケール(96DPI)」に設定してください。



【画面を右クリックした時に表示されるメニュー】



【左：画面プロパティ】

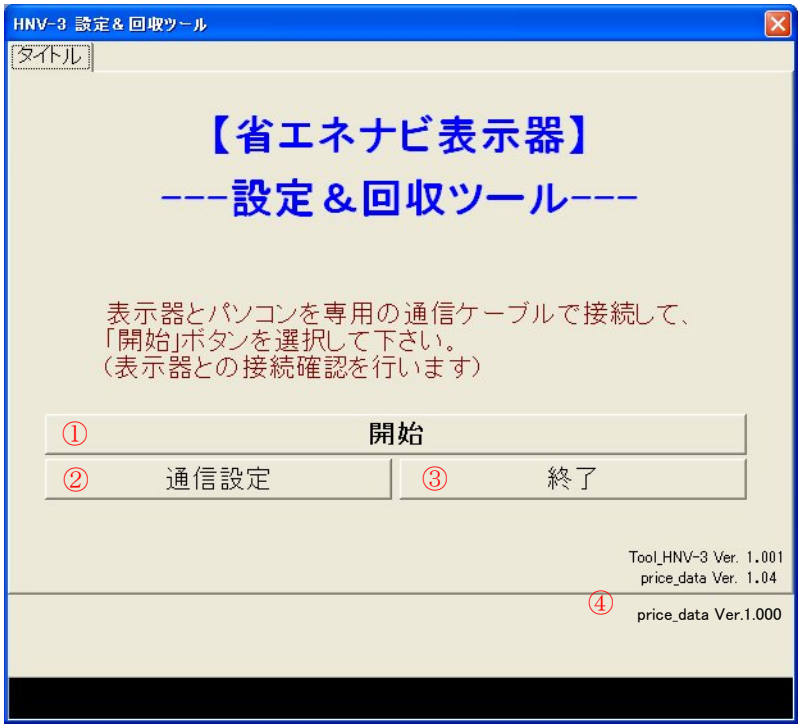


【右：モニタのプロパティ】

・指定の操作を行って問題が解決しない場合は、設定回収ソフトを終了させて、表示器の電源を入れ直して操作をやり直してください。やり直しても問題が解消されない場合は、表示器のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

11. 付録　画面説明

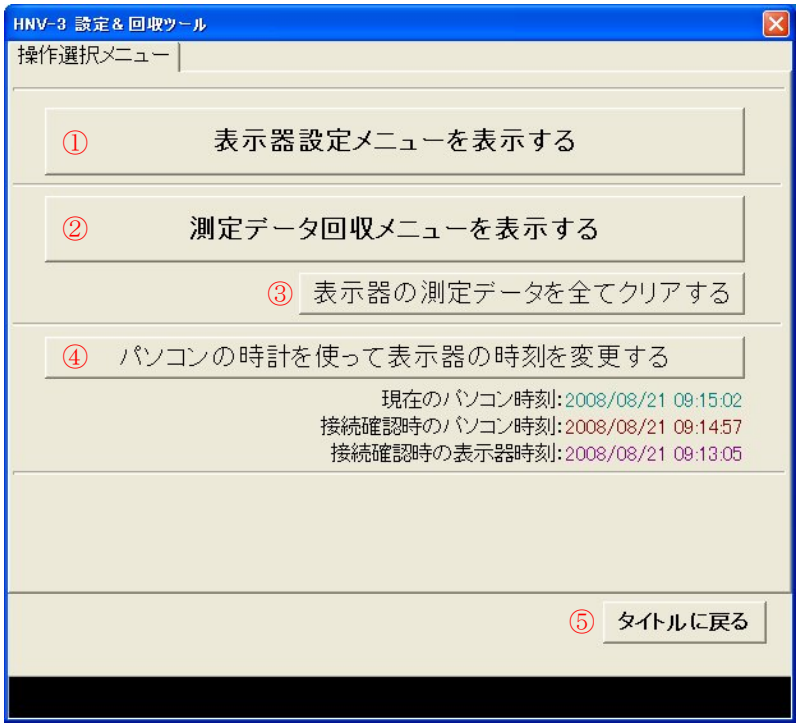
1.　タイトル



起動直後に表示される画面です。

①開始
表示器と正常に接続されていることを確認後に操作選択メニューを表示します。
②通信設定
パソコンの COM ポートの設定ダイアログを表示します。
③終了
設定＆回収ツールを終了します。
④バージョン情報
設定回収ソフトおよび電気料金データのバージョンを表します。

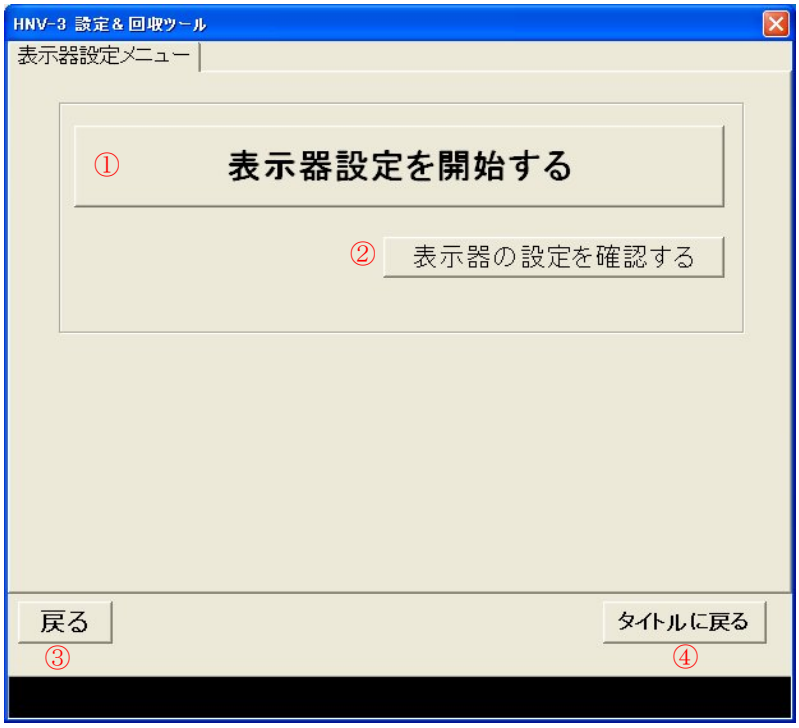
2. 操作選択メニュー



操作内容を選択する画面です。

①表示器設定メニューを表示する
表示器設定メニューを表示します。
②測定データ回収メニューを表示する
測定データ回収メニューを表示します。
③表示器の測定データを全てクリアする
表示器に保存されている測定データをクリアします。
④パソコンの時計を使って表示器の時刻を変更する
パソコンの時刻を基に表示器の時刻を設定します。
⑤タイトルに戻る
タイトルを表示します。

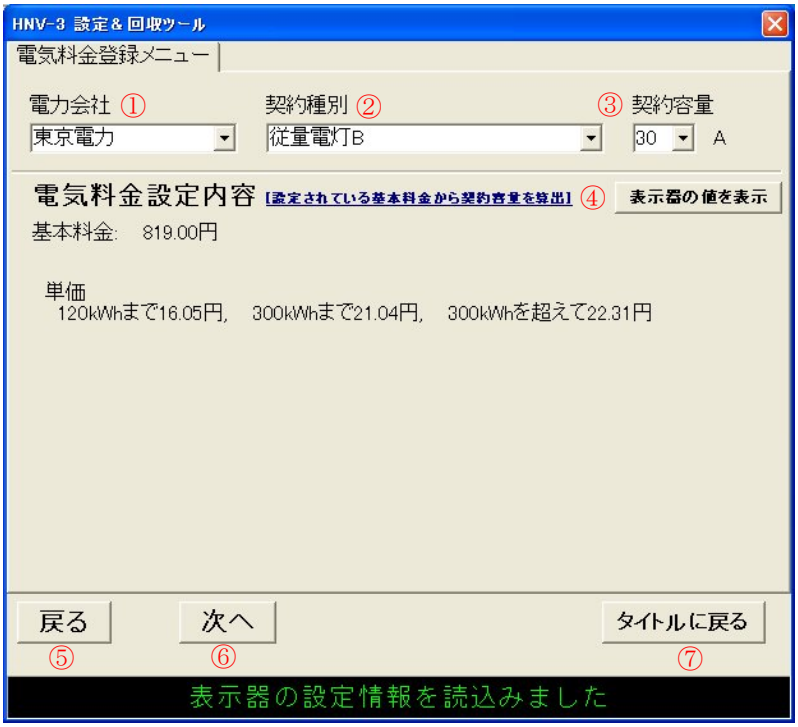
3. 表示器設定メニュー



表示器の設定のメニューです。

①表示器設定を開始する
設定画面に表示する値を選択するダイアログを表示します。(P. 11 を参照)
値を選択した後に電気料金登録メニューを表示します。
②表示器の設定を確認する
表示器の設定値を読込んで設定内容の確認画面を表示します。
③戻る
操作選択メニュー画面を表示します。
④タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

4. 電気料金登録メニュー

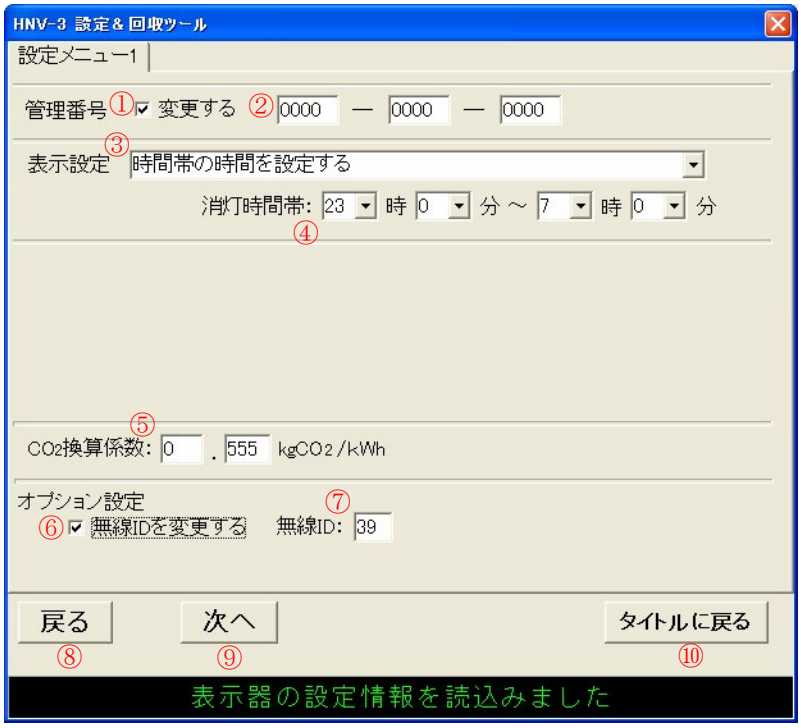


表示器の設定画面です。

①電力会社
電力会社名を選択するメニューです。
②契約種別
契約種別を選択するメニューです。
③契約容量
契約容量を入力します。『②契約種別』で選択された契約種別に契約容量の設定が必要である場合のみ表示されます。入力方法は契約種別により、テキスト入力とメニュー選択の２種類が切り替わります。
④表示器の値を表示する
表示器に設定されている値を表示します。
⑤戻る
表示器設定メニュー画面を表示します。
⑥次へ
設定メニュー１画面を表示します。
⑦タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

注）最新の「料金ファイル：」は、http://www.nito.co.jp より入手できます。起動画面（P.１０参照）のバージョンを確認の上ホームページの手順に従いダウンロードしてご使用ください。

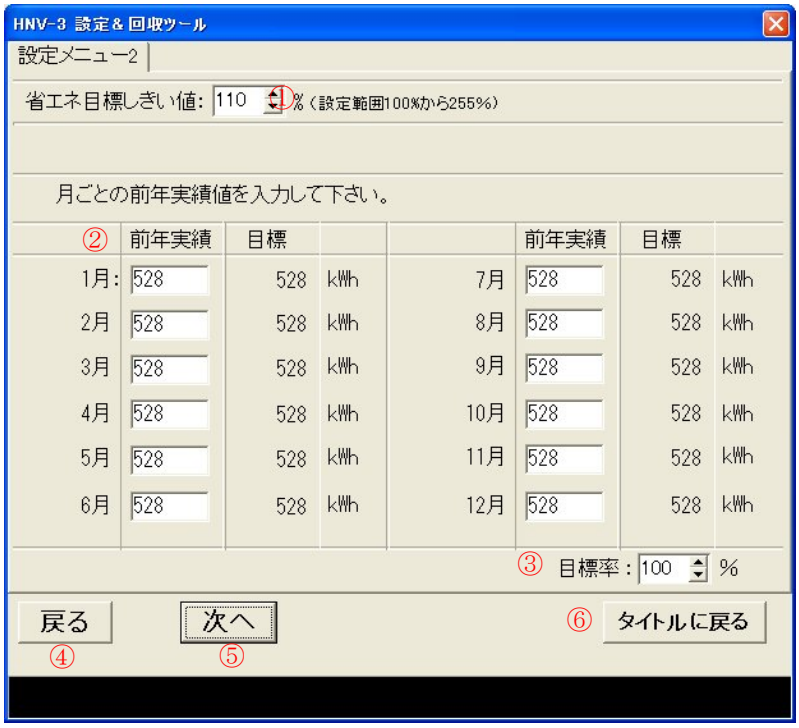
5. 設定メニュー１



表示器の設定画面です。

①管理番号を変更する
管理番号を変更したい場合にチェックボックスをオンにします。
②管理番号
設定した管理番号を入力します。チェックボックスがオフの場合は管理番号の入力はできません。
③表示設定
消灯時間帯の種別を選択するメニューです。
④消灯時間帯
消灯時間帯の種別が「時間帯の時間を設定する」にした場合に消灯する時間を選択するメニューです。
⑤CO2 換算係数
1kWh あたりの CO2 排出量を入力します。
⑥無線ＩＤを変更する
無線ＩＤを変更したい場合にチェックボックスをオンにします。
⑦無線ＩＤ
設定したい無線ＩＤを入力します。チェックボックスがオフの場合は無線ＩＤの入力はできません。
⑧戻る
電気料金登録メニュー画面を表示します。
⑨次へ
設定メニュー２画面を表示します。
⑩タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

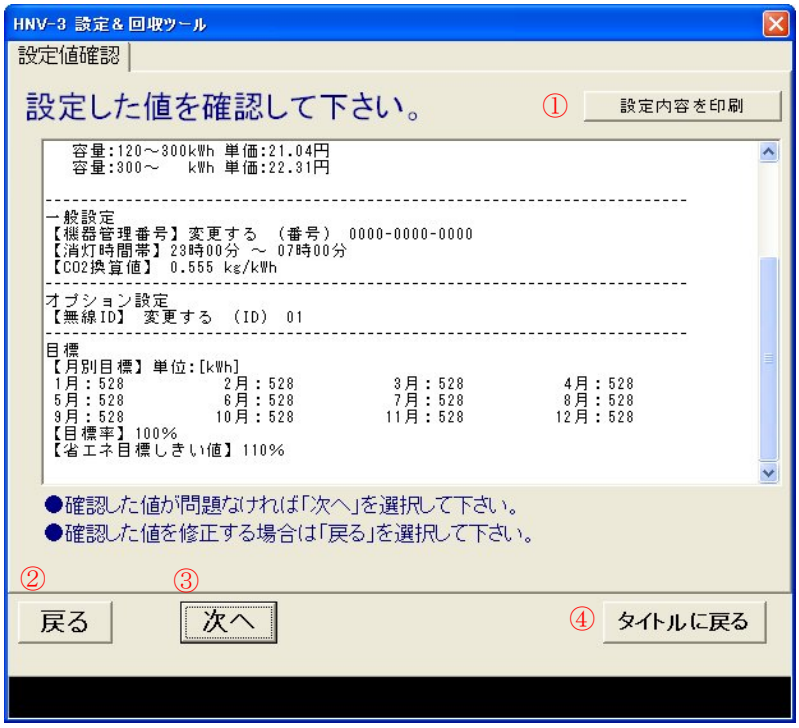
6. 設定メニュー２


HNV-3 設定＆回収ツール
設定メニュー2
省エネ目標しきい値: 110 ①% (設定範囲100%から255%)
月ごとの前年実績値を入力して下さい。
② 前年実績 目標 前年実績 目標
1月: 528 528 kWh 7月 528 528 kWh
2月 528 528 kWh 8月 528 528 kWh
3月 528 528 kWh 9月 528 528 kWh
4月 528 528 kWh 10月 528 528 kWh
5月 528 528 kWh 11月 528 528 kWh
6月 528 528 kWh 12月 528 528 kWh
③ 目標率: 100 %
戻る
④
次へ
⑤
⑥ タイトルに戻る

表示器の設定画面です。

①省エネ目標しきい値
省エネを達成するしきい値を設定します。
②前年実績
前年の実績値を入力します。
③目標率
目標前年実績に対する月の目標率を設定します。
④戻る
設定メニュー１画面を表示します。
⑤次へ
設定値確認画面を表示します。
⑥タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

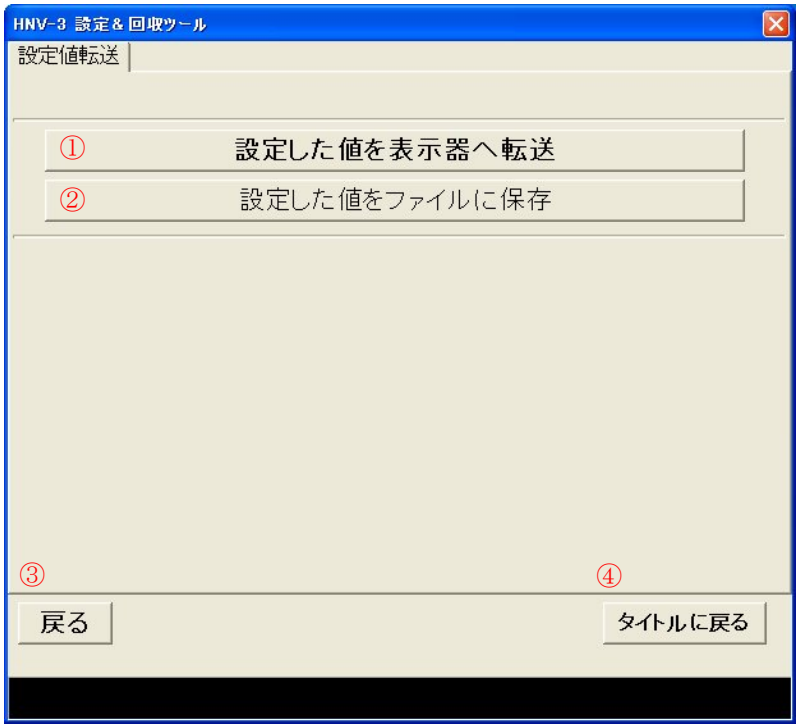
7. 設定値確認



設定メニューで入力された値を表示します。

①設定内容を印刷
表示されている設定内容を印刷します。
②戻る
設定メニュー２に戻ります。
③次へ
設定値転送画面を表示します。
④タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

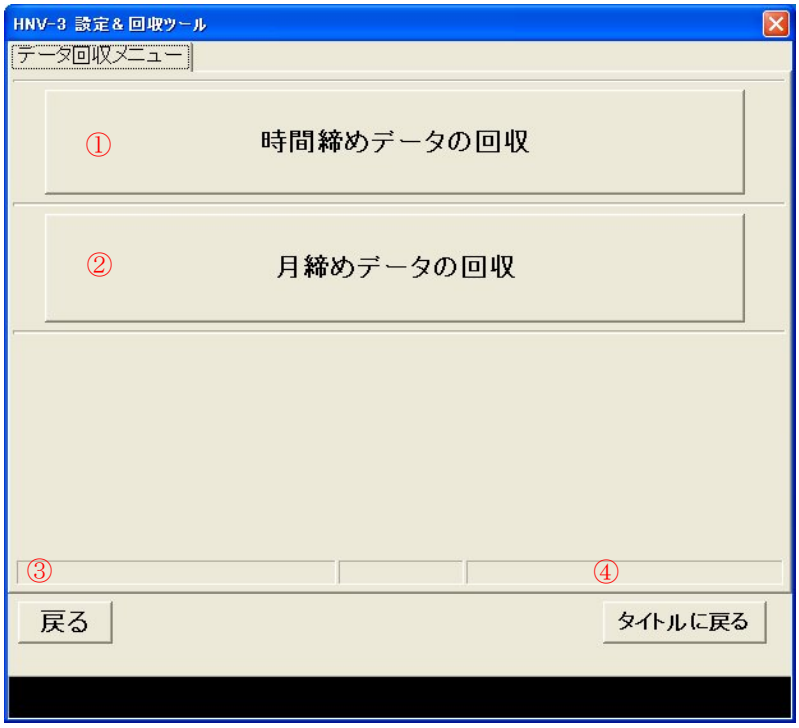
8.　設定値転送



設定した内容の表示器への転送又はファイルへの保存を行う画面です。

①設定した値を表示器へ転送
設定した値を表示器に反映させます。
②設定した値をファイルに保存
設定した値を保存します。
③戻る
設定値確認画面を表示します。
④タイトルに戻る
タイトル画面を表示します

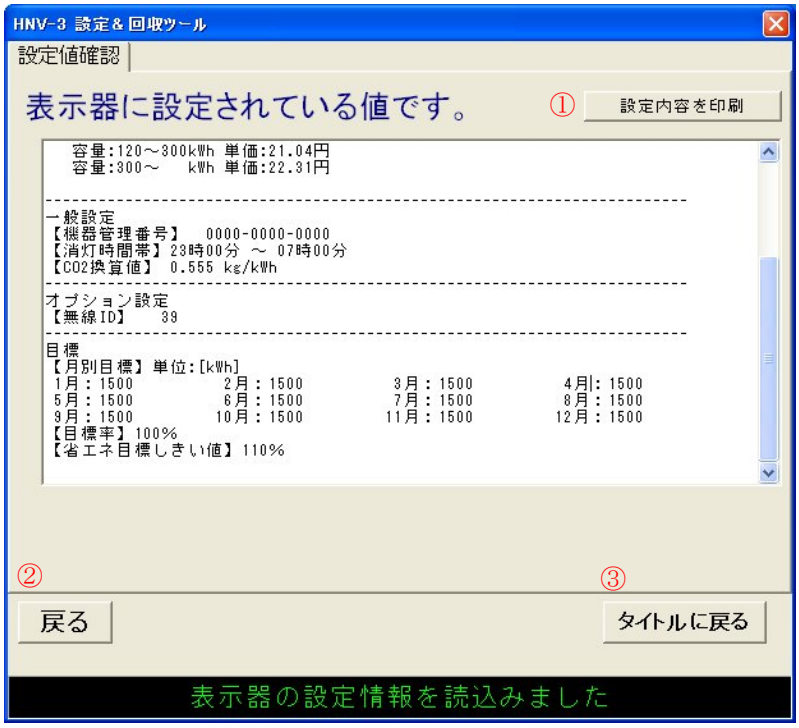
9. データ回収メニュー



データ回収の選択メニューです。

①時間締めデータの回収
回収期間の選択ダイアログを表示します。ダイアログで選択された期間の 1 時間毎の測定データを指定されたファイルに保存します。
②月締めデータの回収
指定されたファイルに最大過去 13 ヶ月間のひと月毎の測定データに保存します。
③戻る
操作選択メニュー場面を表示します。
④タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

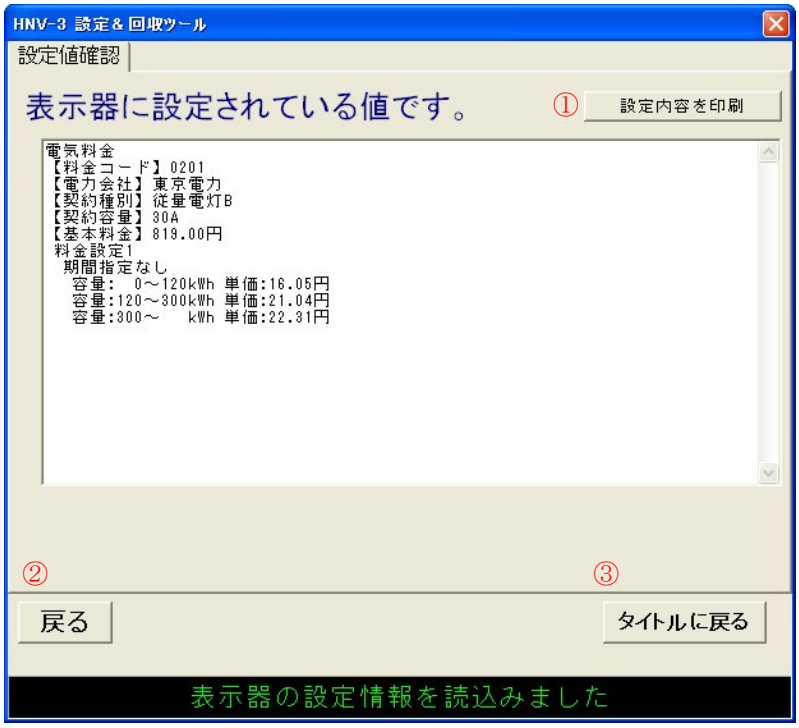
10. 設定値確認



表示に設定されている設定値を表示します。

①設定内容を印刷
表示されている設定内容を印刷します。
②戻る
表示器設定メニュー画面を表示します。
③タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

11. 設定値確認（電気料金設定）



表示に設定されている設定値を表示します。

①設定内容を印刷
表示されている設定内容を印刷します。
②戻る
電気料金登録メニュー画面を表示します。
③タイトルに戻る
タイトル画面を表示します。

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

また、ご不明な点がありましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は２００８年１１月現在のものです。

日東工業株式会社

© NITTO KOGYO CORPORATION

技術相談室 / 愛知県愛知郡長久手町蟹原２２０１番地
TEL（０５６１）―６４－０１５２
http://www.nito.co.jp